

祝 鎌田地区公民館 開館30周年



揮毫 伊藤茂男氏
 鎌田地区
 平成27年11月1日現在
 世帯数 8,584 戸
 男 9,753 人
 女 9,457 人
 発行者 鎌田地区公民館
 公民館編集委員会

10/24
 ~
 25
 盛大に鎌田地区文化祭開催



鎌田地区住民専用展示コーナー

大規模改修後の公民館では、30回目の文化祭が盛大に実施されました。
 館内では多くのサークルメンバーの作品が展示、発表されたほか、鎌田地区住民の趣味の力作もたくさん出展されました。
 また、公民館周辺では、バザー、落語、炊き出し、ほか各種イベントが行われ、大変な賑わいとなりました。



サークルメンバー、地区住民の力作が並ぶ



公民館大会議室で行われたサークル発表会



児童センターまつり



日赤奉仕団の炊出し



ひろばまつり



玄関ホールにも多数の展示

みなさん、新しくなった公民館へはもうお越しになりましたか？
 年表にもあるとおり、旧市内の基幹公民館の一つとして設置された西部公民館は、改修に伴い名称も「鎌田地区公民館」となりました。

地域づくりセンター

センター長 遠藤 彰

さらなる 30年へ向け

西部公民館は昭和59年6月1日の開館から30年が経ちました。公民館は戦後、昭和21年当時の文部省社会教育課長の寺中氏の発意により、同年7月に各県宛てに設置、運営について通達されました。日本独自の構想から生まれたもので、社会教育、娯楽、産業・町村自治振興、青年の教育機関としてスタートしました。公民館は世代、性別、人種をも超えた人々が集まり、

た。そこで、鎌田地区住民の公民館として、「楽しく、ためになり、頼りになる」を目指す公民館としていきたいと思えます。
 具体的には、本号にもあるとおり文化祭に地区住民の展示コーナーを設けたり、皆さんの健康増進や学習意欲を満たすような事業や講座を展開していきます。今後30年、地区の方に愛される公民館活動をしていきます。

地域の皆様には生涯学習の場としてより一層のご活用をお願い致します。



鎌田地区公民館長 仲 善 洋

30周年を迎える 公民館

絆づくりができます。東日本大震災で亡くなられた方々を悔み、毎年竹筒キャンドルで地区の子ども達と故人の冥福を祈り、日頃から防災に対する認識向上に努めています。少子高齢化が進む時代、今年度は認知症講座を開催し好評を得ました。

課題の一つとして学校との連携があります。地域住民との協働により、多様な価値観を持つ人々との交流が、子ども達の視野を広げ豊かな成長につながると信じます。

鎌田地区公民館

30 年を振り返って



鎌田地区公民館連合会長 松本 捷幸 町内公民館長

「光陰矢のごとし」公民館開館から早 30 年経ちました。浄化センターが両島に建設されたのは昭和 59 年で、この建設と同時に西部公民館及び西部グラ

ンド、西部体育館が建設されました。当時の両島町会長鎌倉庄乗氏が多くの地主や市の関係者と日夜協議を行うなど大変なご尽力により開設となりました。私も微力ながら町会役員として関わりましたので、今でも当時のことが懐かしく思い出されます。

住民が楽しく集える公民館に



鎌田地区公民館連合会長 小川 嘉美 町内公民館長

鎌田地区公民館 30 周年おめでとうございます。私は 10 年前から町内公民館長として関わっていますが、まだ町内公民館長になる前から広報や公民館だよりを見てサークルに参加して地区公民館を利用してました。その間、興味のある講座に

現在は鎌田地区公民館と名称も変わり、又館内も改修され、使いやすい公民館となりました。また、鎌田地区福祉ひろば、図書館、児童センターが同じ場所にまとまって建設され、児童や高齢者との交流会等、鎌田地区公民館の協力を得て多くの事業が企画立案され実行されています。

今後は、地域住民の健康増進のため、鎌田地区公民館と地区内の各種団体が連携をとり、子ども、若者、高齢者を含めたスポーツ振興対策等の企画が検討出来れば良いかと思えます。各種同好会、サークル活動等松本市の公民館の中でも利用率がトップクラスとなっております。歴代の公民館長始め、公民

は参加してきましたが仕事も子育ても忙しい中では、参加できる企画も限られていました。太平洋戦争時、里山辺に作られていた半地下工場跡見学、元特攻隊員の方の講演会、満蒙開拓記念館の見学は特に心に響くものがありました。

鎌田地区は 17 町会もある大きな地区です。端の方に住む高齢者の中には交通手段が無く、公民館まで行きたくても遠くに行けない。楽しそうな企画があっても、学区外なので子どもたちだけで参加できない。平日

館職員、他関係者皆様のご尽力の賜物と感謝致しております。

また、鎌田地区地域づくりセンターには、各町会の特に高齢者の諸問題に積極的に取り組んでいただき大変ありがとうございます。

鎌田地区公民館の存在は今後増々重要になってくると思います。私たち鎌田地区住民は、全てを公民館に任せるのではなく自分たちも積極的に関わることが必要です。

今後も地域の皆様のご理解、ご協力を心よりお願い致します。公民館の皆様には今後もしばしば問題に気軽に相談できる窓口となつていただきたくお願い致します。(両島町会長)

は仕事なので興味のある企画があつても参加できないなど、課題は多岐に渡ります。町内公民館長連合会としても鎌田地区公民館と協力し、地区の皆さんの声に耳を傾けながら、解決の糸口を見出して行きたいと考えています。

この先増々少子高齢化が進み色々な意味で大変な世の中になって行くと思えます。その時々に合わせて、住民が楽しく学び集える公民館になる事を願って、微力ながら尽力させていただきます。(弥生町会 公民館長)

鎌田地区公民館 (西部公民館)

歴史年表



完成間近の西部公民館 S59 4 20

- 昭和 58 年 11 月 24 日 西部公民館 建設着工
- 昭和 59 年 4 月 20 日 完成
- 6 月 1 日 開館
- 延床面積 719.4m²
- 陶芸窯 1 基設置
- 西部図書室同時開館
- 蔵書数 2000 冊
- 対象地区 (鎌田地区、田川地区)
- 11 月 第一回文化祭開催
- 平成 5 年 3 月 旧西部図書室閉鎖、新館開館準備
- 平成 5 年 4 月 新西部図書館竣工式
- 4 月 13 日 新西部図書館開館
- 蔵書数 17820 冊
- 平成 6 年 4 月 1 日 陶芸棟新設
- 建坪 19 坪陶芸窯 1 基増設
- 2 基
- 平成 7 年 6 月 1 日 陶芸窯命名「両島焼足半窯」
- 平成 13 年 田川地区公民館開館
- これにより西部公民館が鎌田地区単独の地区公民館となる。
- 平成 25 年 4 月 西部公民館内に地域づくりセンター準備室設置
- 平成 26 年 4 月 西部公民館内に地域づくりセンター設置
- 平成 26 年 6 月 西部公民館改修工事開始
- 平成 27 年 3 月 改修工事完了
- 平成 27 年 3 月 竣工式
- 平成 27 年 4 月 西部公民館から鎌田地区公民館へ名称変更
- 平成 2 年 西部公民館図書室から西部図書館 (分館) となる
- 平成 4 年 7 月 新西部図書館 建設着工